

1. 件名：「大飯発電所原子炉施設保安規定変更認可申請（3号炉の高経年化技術評価等）に関する事業者ヒアリング（14）」

2. 日時：令和3年6月2日（水） 14時35分～16時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（※一部TV会議システムによる出席）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部審査グループ 実用炉審査部門

藤森安全管理調査官※、塚部管理官補佐※、宮嶋安全審査官、

宮本安全審査専門職

長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

池田技術研究調査官※、河野主任技術研究調査官※、橋倉技術研究調査官、

水田技術研究調査官

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力発電部門 保全計画グループ マネジャー 他11名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・大飯3号炉 高経年化技術評価に係る資料およびヒアリングスケジュール案
- ・大飯3号炉 高経年化技術評価に係る審査コメント反映整理表（概要説明）
- ・大飯発電所3号炉 高経年化技術評価（共通事項）補足説明資料

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子力規制庁の宮本です。ではこれから大飯発電所 3 号炉高経年化技術評価で 30 年目に係る保安規定変更認可申請のヒアリングを行います。今日はその他の経年劣化でしょう。に対してこちらからのコメント、
0:00:18	に対しての回答を事業者の方からしてもらおうと。
0:00:23	ということになります。
0:00:25	今日はこの会議室にはやっと実用審査の方がミヤモトミヤジマ畔システム安全のつからハシクラとミズタ、あとウェブのほうでは当日炉心策もフジモリツカベ
0:00:41	システム安全の日経だコウノ、
0:00:45	となっております。よろしくお願ひします。関西電力の方から
0:00:51	資料の説明順にお願いします。当協会といただく部分はかなり過去回答すごいかなと思うんですが、一つずつやっておけば、色紙分類ごと、
0:01:04	うんのほうがいいのかなと思いますので、まず移管確かそんなような形で進めたかと思ひますので、機種分類毎に
0:01:14	いいか、説明いただいて、そのあとこちらから追加のコメントなり質問があればっていう形で進めたほうがいいかなと思ひますのでよろしくお願ひします。
0:01:30	関西電力のウチヤマですけど、これまで埋め立ていただきますとコメントパイプ等は共通事項が 1 件、それとそんな事象が平成 20 件弱ほどございます。本局事項もいただいて、
0:01:46	その対処につきましては、補足説明資料のほうに事象ごとに取りまとめておりますので、この事象単位でこれぜひ説明させていただきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。
0:02:00	そうしましたら、教育事項から説明させていただきます。
0:02:05	ちょっと声聞こえてます。
0:02:09	はい。こちら会議室の方に置いております。
0:02:12	はい、承知しました。そうしましたらづらいとコメント反映整備表資料②ですけれども、その要求事項の
0:02:23	秋の域をご覧ください。
0:02:27	前回ほぼ 6 時コウノ※書きのほうで文書体系における現状保全に係るプログラムについての明かりを決定させていただきました。そのためのそういったコメントとして、
0:02:41	所プログラムに関わる間保全プログラムまで至る文書の体系は明確にするとともに、評価書に記載の現状保全について、連系手順書までの答えがわかる

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ような所の示すということのコメントを受けましたので、そちらの回答いたします。
0:02:59	別途回答が出てくるページ 11 を 11 条実査ということで、全 11 の次のページ、11-2 ページに
0:03:09	記載しておりますので、補足説明資料の領域何ページご覧ください。
0:03:20	別紙 11-19 ページですねとこちらにこれプログラム間のは、
0:03:28	これの保証体系を整備してございます。日丸めてみたときの保全プログラムに PAR する体系は、こちらコウノ、整理した通りになっておりまして、アルゴン系から一部の一つとして、原子力発電の安全に係る検討状況規定。
0:03:44	231 階に文書として、施設管理通達がございます。その他の管理文書として、原子力発電所保守業務要綱保守業務要綱指針、大飯発電所保守業務所則就業の促進というのがございます。
0:04:00	この管理部長を受けまして、この二つに当然総合システムで当社の設計の中に保全指針が定めておりまして、この中に具体的な機器の保全プログラム変更なり日野なりといったものを規定してございます。
0:04:15	具体的にいろいろ残ってるのでのページに示しておりました。
0:04:20	うん。
0:04:21	注 17 ページですが、こちらは一つの例としてもポンプモータを例に当評価技術評価書に書いている現状保全記載と保全指針の記載と、あと保証教職指針に従った、実際に作成された、先ほどいろいろな記載を 1 例として
0:04:42	評価条件置き換えるけれどもこの技術評価書のほうに絵はポンプが鍛錬として現状保全を記載しています。所停止考慮の持ち出せる絶縁低下なに対しては絶縁定期的な絶縁診断として絶縁抵抗測定取り九州支店パンフレット試験部分放電試験。
0:05:00	実施するということをここに記載してございます。これが具体的にどう書かれてるかって言うと、先ほど当然指針のところに、これらの規定をしてございます。それがほかの／多くなりますけども、こちら報告書の
0:05:19	いるんですけど、こちらに書いている通りですね、泊機器の部位ごとに点検方法を点検周期でその保全大きく決定する根拠というのは駄目とりまして、先ほど評価書やっぱいろいろ現状保全をした点検内容というのが、
0:05:35	こちらも影響も中に入っていると記載されて規定されているということになってございますし、具体的にこれは、
0:05:44	そのような連携ぐらい入ってるかといいますと、次のページの
0:05:49	JP-4 ページになります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:51	こちらが／管理文書の補修業務の特殊性に基づいて特定された作業要領書になります。こちらの営業所のほうに記載しているとこちらですね、出て試験として、先ほど評価書のほうに書かれていけば、保全指針で定めた。
0:06:10	この診断項目が記載されておりますので注意事項があってまたチェックシートを持っているとそういう形になっております。
0:06:18	7 ページ
0:06:21	記
0:06:22	11 ページ税制の 8 ページ、11-7 ページのこちらにそれぞれ、先ほど同じ心配ビル 8 項目記載されていたようなハードルが点検していくといったことになっておりますし、日本は
0:06:38	目次コウノこちらに対する回答になります。
0:06:44	こちらは何かご質問等ございますでしょうか。
0:06:48	規制庁の山本です。
0:06:54	前回のヒアリングを踏まえて、現状保全全体像ということで、
0:07:00	示していただいて、
0:07:02	火線ちょっと前回の議論はあったかもしれませんが。確認させてくださいと、この 11-1 ページで化学管理業務所則っていうのなお書きの運転管理っていうことで書いていただいているところなんですけども。
0:07:17	このかな管理業務所則のどれにひもづくん。
0:07:22	ものかってのは、
0:07:24	前回の回答いただいたようなところがあったかと思うんですけど確認させてください。
0:07:32	ワタベウェディングの木村でございます。こちらトマト銀行の方は管理、
0:07:38	補助盤通達の人コントラストZに運転関係などがあって、その下に基づくということで、前回御説明させていただいたもんな。
0:07:49	今回はこの保守管理のところに地域支援として、規制機関に対して、具体的な保全プログラムリットル、海丘を明確にして欲しいと弁閉へ出向に対しては、具体的に保全プログラム前進という定めているということも説明させていただいたんですけども、
0:08:09	そちらについて具体的な転勤 4 桁までの目を追加仕事ということで、追加で説明させていただきます。
0:08:19	はい。
0:08:19	はい。規制庁ミヤモトです。わかりました。ここについて。
0:08:26	pH上類出席の方使つつかべさん、いかがでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:34	ツカベ市とまとめていただいてありがとうございました。そう変わらまして1点だけ確認なんですけど、今の保全のところと
0:08:45	定期事業者検査との関係で言うとうどういう関係があるのか教えていただきますでしょうか。
0:08:58	事務局は定期事業者検査につきましてはこちらの保全指針のほうにつきましては具体的な点検内容書いてございます。定期事業者検査につきましては、各重要なに陥った対象機器を整理した上で適用しながら必要な
0:09:14	機器を定めていろいろ生きるということになっております。
0:09:24	ちょっとわかりましたということは別件でも、その各条例とか、
0:09:30	御説明なんて内容を
0:09:33	給与というかその引かかるのかわからないですか、使われてるという意味も日経返せばよろしいですか。
0:09:41	ワーディングでございます。また別途計器事業者検査用の規則を制定してその評価という形になります。
0:09:53	規制庁ツカベレスポンスありました。私からは以上です。
0:10:03	規制庁の宮島です。ちょっと11-2のところまで1件、私はわからないのか、ので質問させていただきますとこちらへとQMS文書の体系について示してもらってるんですけども、そういったの本店の下にこの一次文書1文章3事業所かついて
0:10:21	キタニさん、保全指針を規定してますという御説明だと思うんですか。所QMS文書の全体像ってどこか参照したらわかるようになってるんでしょうか。
0:10:40	一般的に持ち上げてございます。9mというのがもうまく規定につきましては、それぞれのIT文書に自分のこの文章の中に関連する乗用車回答書という形で規定しております、最終的にそれはその他遅れてるのかなくてそれを明確に定めたものがございません。
0:10:59	自主的に下部までちょっと整理したりとかいうのはありましてプラスアルファですけれども、各サイトで
0:11:08	保守的になられたというようなものがございません。
0:11:12	規制庁ミヤジマです。ご説明ありがとうございました。この保全指針の、
0:11:18	この体系がよくわかるようになっているので、
0:11:22	よろしいかと思えます。ありがとうございました。
0:11:29	規制庁の山本です。ほかになければって共通事項の方で終わりにしましたがキタニばまた後でって形で今、次にその他の経年劣化事象の方、
0:11:44	お願いいたします。機器分類ごとに説明いただくという形のほうがいいかなと思えますのでよろしく申し上げます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:55	関西電力のムラタです。
0:11:58	進め方ですか。
0:12:02	別紙のまとめ方が、事象ごとになっておりますので、
0:12:06	部署ごとに説明する方が決定のページ、1個ずついっぱい形状たりという作業があろうと思いますが、いかがいたします。
0:12:19	また任せますか。
0:12:21	そしたら、そこは事業者の方で
0:12:27	でも、くり抜いところで、
0:12:31	進めてくれれば、いただければと思いますので、はい。お願いいたします。電力もったり、ありがとうございますし。それでは名とパン立証の
0:12:44	13ページから始まるその他の経年劣化事象について回答させていただきたいと思います。
0:12:52	まず、別紙の1-1でございます。
0:12:56	一方サイクル疲労割れに係る説明の中の別紙1の値のみを内構造物炉心そ う等の防災局疲労割れについて回答いたします。
0:13:11	形式日の1-5を確認ください。
0:13:16	うん。
0:13:18	一方、
0:13:20	前回いただきましたコミュニティとは失礼しました。コメントNo.のは、
0:13:27	頁14ページのコメントNo.1026-1です。
0:13:36	26-1で5分の1スケールモデルの流動しております。提案説明することとい ただきまして、それについて個目位置を振ってございます。んで※1の通り、メ ーカー社内試験5分の1模型によるリーダー文があるまい相当物の
0:13:56	っていうのを辛抱して、
0:13:58	というものが出品となります。以上です。
0:14:03	続きまして、別紙1が海でございます。
0:14:08	関西電力の記事でございます。引き続きまして、フィッティング疲労のほうを御 説明させていただきたいと思います。
0:14:16	日東エフシーのほうは1-2のシリーズになります。
0:14:20	前回ご説明させていただきまして、別途、コメントをいただいております今一歩コ メントNo.のほうは10-1になります。
0:14:31	前回御説明していただきましたけれども、稜6振幅の話とによって、設計値と 測定値のこちらを用いているのかわかるように説明することということで等ご 質問いただいております。
0:14:45	別途回答については別紙の1-2-1に引退させていただいております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:52	表がありますけれども、あの表の下のところに追記させていただいております。
0:14:58	余熱除去ポンプで原子炉補機冷却水ポンプ電動補助給水ポンプのいずれのポンプにつきましても、あれを振幅は伸縮や車などの自重及びいたしある課長に保守性を考慮した設計値を用いて、一般的な話から算出させていただきます。
0:15:15	その旨記載させていただきました。
0:15:19	続きまして、12-1 のコメントでございますけれども、窃盗じゃ倍位コメントとしていただきましたのはオペレーティング費等に関する振動確認につきましてそれぞれどのようなタイミングで実施されているのかなっていることということで、もっといただきました。
0:15:39	別紙の 1-2-2 のところをご覧くださいませでしょうか。
0:15:46	国へこちらの分科会まで振動 600 万っているのか、特定方法曹長用いているのか触診や長期なのかといったところがわかるように記載を提示させていただいております。
0:16:00	①振動診断離席によるしんどかつにさせていただきます。
0:16:05	こちら実施時期としましては、プラント運転中今日お天気検査中になります。
0:16:11	プラント運転中の通常運転時や平均堅持または定期検査時の中の点検保守運転時の振動測定装置により本部の運転状態に異常がないと、この振動データと 71 ただないことを確認させていただきます。
0:16:28	②としまして、巡視点検での振動確認でございます実施時期としましては、プラント運転中になります。毎日実施しております。
0:16:39	巡視点検時に運転による触診聴診棒による聴診及び目視によって異常な振動等の有無を確認させていただきます。
0:16:48	③でございますが、5 ページとしての振動確認やます。
0:16:52	こちらはプラント運転中、常時監視でございます。
0:16:57	余熱除去ポンプや原子炉補機冷却水ポンプ等の軸受の振動の布石では私語軽減して確認可能でございます、進路速度が調査した場合には中央制御室に警報が発信するという仕組みになってございます。
0:17:13	議長をフレッツ稟議炉に対するコメントに対する御回答でございます。
0:17:25	はい。規制庁ミヤモトです。
0:17:28	まず 26-1 の
0:17:34	この別紙で 1 と 1-1-2。
0:17:37	いいですか。これは出典をっていう話だったと思いますが、これはよろしいですか。はい。これははいこれでわかりました。はいて、次、1-2 の
0:17:53	立地のところですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:57	コメントリストですと、
0:18:01	11-1、
0:18:05	確か上尾応力振幅と広げの曲げ応力振幅の考え方ありよう補足することって いうことで指摘をコメントしてそれに対してってことで追記いただいたという理解 で、これは、はい。これも灰この売れて大丈夫ですはい。
0:18:23	次 1-2 の
0:18:26	わかりましたと効率の 2-2 のターボポンプの松竹フレッツ拾わいたす保全内 容ということで、確かこれは前回何が常時監視で何が毎日の受注し点検なの かとか、
0:18:44	そういったところがちょっとわかりにくいんじゃないかというところもあってもう少 し丁寧になりやすくてという話があったかと思いますが、これは江藤コウノさ んがかでしょうか。
0:19:00	一般の設計委託まとめていただいてありがとうございます。一つだけ確認させ てください。この別紙 1-2-2 の中の本説明の③に書かれている。
0:19:11	地方制御室で見られるのは、ここに余熱除去ポンプと原子炉補機冷却ポンプ 等となってるんですけども、メインの配下であって、ポンプ、
0:19:23	だと思えますけれども、ほかに何かあるんでしょうか。
0:19:29	／サイレン弁関西電力の土岐でございます。他に測定して常時監視している ポンプとしましては、と一次冷却材ポンプとO. 海水ポンプがございます。
0:19:42	以上でございます。
0:19:45	規制庁コウノですか。了解いたしましたように、なんか一番近いじゃない一次 冷却材ポンプはここに入ってくるのかなと思ったのけれど等の中に入っちゃっ てるのかちょっとかなというふうにちょっと感じました。以上です。
0:20:03	関西電力のツジ型連続のツジでございます。ご質問の内容のところはパーク ポンプということで 1 セット培養するポンプを記載させていただいたということ でした。
0:20:17	以上でございますか、了解いたしました。
0:20:25	はい、伊藤ほかに、規制庁からございますでしょうか。
0:20:32	では、当月
0:20:36	はい、次進めてください。出野さん、患者さんお願いします。
0:20:43	関西電力のムラタです。別紙 1-3 の腐食流れ型腐食に係る説明について説 明いたします。まず別紙 1-3-1 ですか。ごめんぼナンバーは
0:20:59	13 ページのコメントナンバー13 です。
0:21:04	前回質問。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:08	分離機器の補修の基準は数値の基準はないと、こちら説明させていただきます、
0:21:17	そのときに、社内の補修よほう要領など定義はないのですかと質問を受けたもので追加で説明を行うものでございます。
0:21:28	回答といたしましては、前回も説明させていただいた通り、湿分分離単体での容量というものはないんですけれども、補修の全体の考え方ということで、検討1に差がない。
0:21:44	の所属を添付させていただいております。
0:21:50	ちょっとマスキングに係る部分でございますので、紹介があつてっていうのは割愛させていただきたいなと思います。
0:22:04	続きまして、別紙1-3-2aとc蒸気入口からの流れ加速型腐食に対する見方見として、
0:22:13	受けとめとしていただきますうたいてるコメントなんですけれども、ナンバー27。
0:22:20	で、コメント内容が主蒸気入口間については、2次系配管肉厚管理指針に基づき、UT及び目視試験を実施し、余寿命管理を実施しているが、その内容を取りかえ時期等について示すほぼ
0:22:37	となっております検討の回答なんですけれども、主蒸気入口かについては社内標準日程配管肉厚の管理指針を定めて余寿命管理を行っております。具体的には、超音波測定による配管の肉厚測定を実施し、
0:22:53	またその結果に基づく余寿命評価から次回測定時期吹きまたは取りかえ時期を決定しております添付1に概要を示していますので、次のページお願いします。
0:23:06	ネット
0:23:09	ゲンポウ位置が右肩添付1になるんですけれども、概要ということで、
0:23:14	また左上を点検計画、こちらの現行到底する部位すべてに対して点検計画が定められております。これに基づき点検肉厚測定を実施します。その結果、40名を書くとしてします。
0:23:29	20 その下に別途ちょっと文献になるんですけれども、高経年化プラントかということで、
0:23:36	高経年化プラントの場合は、右のケースにつきまして、余寿命が10年以上の場合は右に行きます。
0:23:45	余寿命が10年未満となる時期までに次回点検ということで、点検計画表に反映します。
0:23:54	余寿命が10年未満となる場合、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:58	その場合は、
0:24:01	この場合は下の配管取替計画を策定し、取りかえまで
0:24:08	毎回権限を以下特定を実施します。
0:24:11	かつ余寿命が次回、
0:24:14	次回運転期間未満の場合は、その定検にて取替を実施します。
0:24:23	と高経年プラントかノーの場合、こちらは先ほど 10 年を閾値としてたんですけども、5 年を敷地として管理します。
0:24:33	敷地
0:24:36	なおリプレース鉄塔主蒸気入口管理については、余寿命な 10 年未満の箇所が確認されておりませんので、
0:24:45	資金の取替時期は未定でございます。
0:24:48	1、
0:24:53	ぶちまして検討別紙 1-3-3。
0:24:58	これからいただきます。こちら、
0:25:01	コメントNo.20 となっております。
0:25:04	いただいたコメントなんですけれども、
0:25:06	主蒸気系統配管及び主給水系統配管の腐食で括弧流れ加速型腐食について至近の 2 か測定結果及び余寿命評価結果を示すことをコメントいただいております。
0:25:20	回答なんですけれども、別紙 1-3-3 に戻りまして、
0:25:25	主蒸気系統配管及び主給水系統配管の余寿命評価結果は下の表 1 の通りとなっております。
0:25:33	主蒸気系統配管につきましては、余寿命 10 年未満を点検箇所数は 19 で最短の要するに要は方. 4 年となっております。
0:25:44	給水系統配管に振りましては、10 年未満の点検箇所数は 2 ヶ所、さいたま余寿命は 5.1 年度となっております。
0:25:54	で、ここでちょっと最も余寿命の短い給水系統配管の測定部について、代表として、資金の肉厚測定結果を検討 1 で説明させていただきます。
0:26:08	次のページが添付 1-2 分の 1 を御確認ください。こちらハッチングになってるんですけれども、スケルトン図。
0:26:18	お示ししております。
0:26:22	家スケルトン部内に代表部位と示させてもらってるんですけども、ここが一番減肉量寿命な短い箇所となっております。
0:26:33	このスケルトンで 7 番なんですけれども、国のページ行っていただいて、
0:26:39	代表部位の肉厚測定結果というところで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:43	でした。こちらもハッチングになってるんですけども。
0:26:47	7だ。
0:26:49	7番が今回代表として、説明さして説明させていただくものとなっております。
0:26:58	配管のスペックが載ってまして、
0:27:01	で、
0:27:03	赤色のハッチングのところに18回経験理事。
0:27:07	要するに、
0:27:09	下、その右に青ハッチングの時青ハッチングの部分に18回定検の肉厚測定結果を記載しております。
0:27:21	以上になります。
0:27:34	一旦ここで切りますので、御質問等ありましたらお願いします。
0:27:41	はい。
0:27:41	規制庁宮本です。のっとりまして、
0:27:47	別紙1-3-1。
0:27:51	判断ですね
0:27:54	湿分分離器
0:27:58	のところの流れ加速型腐食のそういう確かこれは保修要否の判断というところで、
0:28:06	どのような形になってるんですかというところで補修業務所則
0:28:12	を示し、さらにだっているところですね。
0:28:18	電話、
0:28:21	皆さんマスキングになってますけれども、中身について言葉ちょっと文字起こしも今期してやりますが、何かありますか、走っていてもいいかな。
0:28:36	ちょっと聞きたい部分もあるんで、これも見ながら、
0:28:42	こっちもですね次別の
0:28:48	2時間。
0:28:52	配管肉厚管理指針に
0:28:55	はい。
0:28:57	考え方を細かくちょっとかなと思いますので、
0:29:04	わかりました。そしたら
0:29:08	今会議の中で話したのは1-3-1。
0:29:13	いいの工事教職員に基づく活動ですとか、
0:29:18	1-3-2の肉厚管理ですね、清掃に2次系配管肉厚管理指針に基づく余寿命管理とかっていうのはどのようになっているんですかってのはむしろ現地で内機器或いはそういった

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:35	記録類生の記録にながらと確認していく。この資料をもとにですね、も踏まえながら確認してくたほうがより確実かなという話も出ていますが、
0:29:49	この3 そういう形でもよろしいですか。
0:29:56	国がほとんどです。スリッパで問題ないと思っております。
0:30:01	はい、規制庁の宮本です。
0:30:03	今ここに書かれてないについては特に追加のコメントなんですというところで、
0:30:10	1年の3-3もそうですかね、これ電話
0:30:18	同じ落とすはいお願いします。
0:30:22	今ちょっと移ってる強度1で、
0:30:25	四つの事業、10年未満の点検箇所数と書かれてるのは、
0:30:32	3. 今後
0:30:34	きた結果10年未満だったのが19ヶ所あったという理解でよろしいのでしょうか。
0:30:45	関西電力のセトでございます。こちらですね、下の※2、2020年7月はた第18回定検開始時点と書かせてもらってるんですけども、
0:30:58	これは18回定検以前の測定結果、
0:31:03	から18対18回定検理事。
0:31:07	40分の期間の余寿命引いた結果、
0:31:11	となっております。1別物で一番至近に測定した結果から18回経験理事までの期間も余寿命ヒーター装置と合っております。
0:31:26	以上です。
0:31:29	すいません規制庁のハシクラです。いや、それじゃなくてこの点検箇所数、19ヶ所というのはすべてですかという意味ですね、それともどっかセレクトして、10年未満になったものが19ヶ所なんのでしょうか。いわゆるにもっと母数があってその中から10年未満に該当するのが19なのか。
0:31:48	それとも、19ヶ所のうち19ヶ所なのかどっちなんのでしょうかという意味合いです。
0:32:11	関西電力市川でございますが、母数はおっしゃる通りもっと沢山ございまして約何百や火山ですけども、定検開始意味10年で切っていたような事業の箇所の地域を箇所だけでしたということでございます。以上です。
0:32:28	規制庁ハシクラです。この間それでよろしいですよ。それをいつもの二次管理指針を関連3のキープしているものに対してどうなのかっていうことを現地で確認するという観点でいいですよ。すいません。
0:32:44	かえって今度失敗しました。それでいいと思ってます。
0:32:50	すいません規制庁の蜂須賀です。ありがとうございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:00	はい、江藤ほかに規制庁のほかになれば、当次良い機会と思っております。
0:33:10	では次のまた二階はまた最後にまた時間設けますということで、立木いい数字で説明をお願いいたします。
0:33:23	赤い電力のムラタです。別記ってのは館まで終わりましたので質疑別紙 1-4 ですが、別紙 1-4 についてはコメントがございませんので飛ばしていただいて、別紙 1 のほうからになります。
0:33:36	別紙 1 のほうの応力腐食割れに係る説明についてですが、まず別紙 1-5-1 ということで、コメントのNo.19-1。
0:33:50	いいですね、これで弁閉蓄圧タンクの管台と本体の溶接材料を提示する説明することといただきましたので 20%その下の表で書いてるところを追記させていただきます。
0:34:07	はいで読みますと、蓄圧タンク観測孔と管台ステンレス製の溶接材料ニッケルもやはり詳細は一般の通りということで実質化とかしていただいています。説明は以上になります。続きまして、別紙 1-5-2。
0:34:25	に移ります。コメントのNo.18-1 です面とNo.18-1 です。
0:34:34	各月のヒータスリーブ勤労の
0:34:40	溶存酸素濃度ををはかったことありますかというご質問ですか。それについて二重下線別紙 1-5-2 で 20 パー件聞いているところがございますが、なお運転員の冷却材は溶存酸素濃度 0.005ppm以下と適切に管理されており、
0:34:58	聞き出すリーグ近傍も同等と考えてございます。
0:35:04	以上です。
0:35:06	関西電力の辻でございます。引き続きまして、別紙 1 のこの看護弁棒の応力腐食割れにつきまして御説明させていただきます。
0:35:17	こちらについては、コメントナンバーが 22 番でいただいた質問になります。
0:35:25	名簿の応力腐食割れについて記述米価が倒れ個社これの特徴発生要因でこの仕切値、通常の応力割れを緑色割れたのはそういう提示することをいただいていた。
0:35:38	回答のほうは別紙の 1 のほうの 3 をご覧いただけますでしょうか。
0:35:44	まず 1/としまして水素脆化が他号炉腐食割れについてご説明いたします。8000 としましては、運用計画の腐食反応で生じた生徒が本局で抽出されてわれる位置を応力腐食割れになります。
0:36:01	特徴としましては引っ張り強度が改良ほど送り合っているものになります。
0:36:06	2 ポツとして、脆弱な応力腐食割れについて記載させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:12	発生応力発生要因としましては、揚力の腐食反応が活性経路に沿って進んで られるEPC型の応力腐食割れになります。
0:36:22	両者の補助について参考に記載させていただいておりますが多く、
0:36:29	現状の応力腐食割れは合同溶解対応が支配的でございます。一方OT租税 型応力腐食割れは水素の影響による脆性的な破壊になります。
0:36:41	弁に負荷される応力につきましては、弁のマークシートに関する運用について において有意な応力が書かれなないようにしてございます。
0:36:50	具体的には手動弁については、バックシート効果を実施しないままにしてござ いまして、電動弁については、赤井川トルクシートに弁つき設計は名簿に係る ピーク応力を低減し、設定値以下になるようにしてございます。
0:37:08	別紙 1-5-3 については以上でございます。
0:37:11	引き続きまして、別紙 1-5-4、タービン 4 日ボルトの応力職場離任について 御説明させていただきます。
0:37:19	コメント番号については 28 番になります。
0:37:24	いただきましたコメントについては、読み上げさせていただきますと、よく噛ん ボルトについて評価されているということの種類を提示することを析出層化が 達成度 7%事故に対する考え方を示すこととだけいただければ良かったです。
0:37:40	別紙 1 の方にもご覧ください。
0:37:45	沢山ボルトに使用しているダイドーは見れ西友 1616 相当の概要でございま す。
0:37:52	今の点を形成熱交ではございますが、海外で多くの本省報告がされている的 ポート型のものではございません。
0:38:02	町 1-5-4 の御説明としては以上でございます。
0:38:09	ちやいます。
0:38:14	秋田
0:38:17	すみません、ここで一旦止めましょうか。
0:38:21	引き続き推進をやったほうがよろしいでしょうか。1 回止めますはい、規制庁 にあたり石灰止めます。別紙 1-5-1。
0:38:33	ですね、当令和確か前回のときに、
0:38:40	端側こうである蓄圧タンク等を管台であるステンレスこう
0:38:46	これ一種継ぎ手なのかという話があって、何を作って
0:38:52	使っているのかってことで確認しましょうということでニッケル合金でありって書 いていただいてこれはこの 3 これによろしいでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:04	今後ですって可能伝えるとなんていうか、そこをつなぐのに 3⑨系を使っていけるけど使ってるのかというのを確認させてもらったという次第でこの回答いただきますので、状況評価した。
0:39:22	はい、規制庁ミヤモトですわかりましたじゃこれはこれではい。はい。
0:39:28	わかりました。低地の
0:39:29	この 2 のほうは追記いただいたんですねと実機での溶存酸素濃度を
0:39:38	運転時のですね、逆鞘 1 冷却材の共同酸素濃度というのも、
0:39:43	これはヒータスリーブ勤労でものなのですかっていうところをちょっと確認したかったっていうところで、これは
0:39:54	1000 規制庁のハシクラですねと、いま一度確認ですけども、この御回答でヒータスリーブのところからは直接は通っていませんと一理建材の管理として、どっか 1 で経済入るところ或いはそのまま前段側、
0:40:11	水質管理をきちっとやっているの、同等ですよという御回答ということですよ、そういう理解でよろしいですよ。
0:40:20	関西電力のムラタです。はい、その通りでございます。
0:40:25	はい、わかりました。承知しました。
0:40:31	はい、ミヤモトレセット一致のコウノさんと 1-5-4 がこれが
0:40:38	回目に追加れ質問をしたものでこれまでに回答は、
0:40:46	これに対する比瀬回答というのは今回が初めてになるんですねって、これは先月ぐらい提出いただいたものですか、ちょっと画面にもちょっと投影しながら、何をさせさせていただきたいんですが、当市のコウノスさん。
0:41:04	法令については、
0:41:10	かかって消火規制庁のほうから、
0:41:19	結果、
0:41:20	はい。
0:41:22	4 月ちょっと前 8 月です。
0:41:39	うん。
0:41:45	以上です。
0:41:55	1-5-3 と 1-5-4、あわせてですけども、この 3 他何かございますでしょうか。
0:42:06	はい。
0:42:07	今日、学校のですね、やっと 1-5-30 決得火山応力腐食割れの御説明時取り入れ孔いただいております。別にこの人も 3 も下に書いてある括弧の
0:42:22	バックシート規格とませんというのは、どういう収支なるんでしょうか。今日暴力がないから、うちも起きないということを言われてるんでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:40	関西電力の辻でございます。応力についてはですね、
0:42:47	もちろんその中で応力が敷地のあるのかみたいなご質問いただいておりましたけども、ちょっと明確な敷地というのが
0:42:58	内ないということで、dとはいえ、あの実際のチップの運用としましては、応力がかからないようなような議論をしていることから、織込む職場離任に対して、
0:43:14	両方予防的というか、なるべく起こらないようにという処置はしてますという意味で記載させていただいたものです。
0:43:22	以上です。
0:43:27	規制とこのですから、大きく腐食割れの要因の一つである応力をされてますということを御説明いただいたというふうに理解いたしました。
0:43:39	はい、ありがとうございます。
0:43:52	すいません規制庁のハシクラですけども、1-5-4のところでも今一度確認なんですけども、析出効果系は、この大飯の3号機に関しては全く使用していないという理解でよろしいですね、すみません、1-応確認ということで教えてください。
0:44:12	関西電力の辻でございます。当該箇所については析出硬化型の前天災等ステンレス等は使ってございませぬけれども、他の部位とと例えば弁におきましては、使用している場所はございます。
0:44:28	以上でございます。
0:44:30	規制庁の8ヶ月、そういったところに関しては一応海外のことも考えて地方税の中では何らかの形で見てるとかっていうこともあり得るんでしょうか。ちょっと教えてください。
0:44:46	科医電力の数字でございますという答弁の弁につきましては別途質問いただいております、一等いいし、
0:45:01	コメントNo.23番で弁の熱時効ということで0.3人決済熱交のNDF熱時効に対する考え方を示すことといただいております、本日、後程御回答させていただきたいと思っております。
0:45:20	回答でもわかりましたじゃあえっと、熱時効のほうでまた確認させていただきます。ありがとうございます。
0:45:31	はい、規制庁の山本です。では次に、いいですねと1-
0:45:38	この項ですか。
0:45:40	コメントNo.ですと多分ここは現場で2345と続いているかと思しますので、途中に説明をお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:51	はい、関西電力のテラチです。私の方からその 1-5-5 から 1 の部分の 8 ね今コメント番が複数番号が 2345 といったところについての説明を始めたいと思います。
0:46:06	° まずコメント番号 2 番のほうへこちらのフローを整理 23 ページの上から 2 行目でございますが、いただいたコメントが加圧器スプレイ管理におけるき裂発生に係る記載内容は調査結果と整合のとれたものとするのと、
0:46:23	いうコメントをいただいております。
0:46:26	これに対する対応として FFP の 5-5、別紙 1-5-5 のほうを御確認ください。こちらのほうですね、これまでの公開がある方でのやりとり等ですね、その辺を踏まえて我々の意識と今後の対応というところ。
0:46:46	端的に記載してございます。
0:46:48	簡単に読みますと、2020 年カリストラー 1 冷却材パンと次へ管継ぎ手の配管溶接部近傍内面にキーやっぱ確認されているという調査の結果過大な要請にプレート形状による影響が重畳したことで表面近傍において特異な効果が生じ、
0:47:07	この特異な効果が亀裂の発生に寄与したと推定されたき裂バイオ影響部で粒界に沿って進展しており、粒界型応力腐食割れで進展したものと判断されたということで事象としての概要といたしましては、き裂が発生したというところまだ少し課題がある。
0:47:27	の進展に関しては、粒界型応力腐食割れであるというそういった整理をしてございます。
0:47:35	その次のパラグラフでございますが、一方国内外の PWR プラントにおいて類似の事例は確認されておらず、大飯 34 号機において同様の事象発生の可能性があると推定された部位すべてに対し、追加検査が行われたが、1 が認められない。
0:47:52	これらの状況から亀裂の発生は課題の要件に優劣と形状による影響が重畳した特異な事象であったと考えられる。
0:47:59	ということで繰り返しになりますが、儲かり分割れであるという判断をしてございまして、これまでも類似の事例が見つかってないというのが、
0:48:12	国内外の状況であるというところと検査した範囲でも見つかっていないということが記載しております。
0:48:19	き裂発生部位については、第 18 回定期検査日程取りかえを行う計画であり、取りかえに際しては初層入熱量が過大にならない全挿事業説を採用するため今後同様の事象が発生する可能性は小さい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:32	当該部の亀裂は特異な事象と判断され今後も機能の維持は可能であることからオーケー伝播対策上着目すべき経年らか事象ではないと。
0:48:41	ということで当該部亀裂が発生した部位に関しては現在取替えの工事を行っているところございまして、前回過大な入熱になるような要因であった治具プラスまうで、形状等の影響があったというところございまして。
0:49:01	今回は電送事業説という形で
0:49:06	第2版という可能性を排除した形の工事を行ってございまして。
0:49:13	なお、大飯3号炉で発生した事象は得意であればメカニズムを上手くいったら明らかになってないことから、類似性の高い箇所に対しては3定検の間毎定検検査を実施し、知見拡充や研究結果を踏まえて対象品等を検討し、そういう期間中検査の計画に反映することとしていて、
0:49:31	この辺の文言についてはですね公開会合等で規定委員会等にご報告いただいている内容をそのまま読み込んでございまして、我々としてもすべてがわかったものではないということで引き続きATENAのほうで研究等を開始すると。
0:49:50	いう状況でございますので、対応としてはこういった形での対応のこれまでに報告の間をとっていくという形の文言をこちらの方にも記載させていただいているという状況でございます。
0:50:05	1-5-5としては以上のような内容でございます。
0:50:10	もしよろしければ次の1-5-6のほうに立派なと思います。
0:50:17	1-5-6でございますが、いただいたコメントはですねコメント管理表の三番。
0:50:25	1000立方配管のUTにおいて探傷不可範囲を探傷不可場所及びその箇所にタッチする約4207-4号丸々溶接棒投下した干渉の適用状況または適用計画を提示すること。
0:50:41	というコメントをいただいております。これに対応する回答が1-5-6でございます。
0:50:51	で、説明のところでございますが、まず大飯3号炉において支店熱交配管の上部は探傷検査における探傷不可範囲ということでは便やフランジ部の2人の溶接部というところが部分的に存在しているという状況でございます。
0:51:07	今回大飯3号のスプレイ管台の話を受けて、我々検査を進めているという部分でございますが、探傷不可範囲は溶接部の弁側ではステンレス鋳鋼側にございまして前列報配管側には圧力範囲は存在しない。
0:51:25	いう状況でございます。
0:51:27	なお、弁はステンレス鋳鋼ステンレスを中高であるため、応力腐食割れが想定される。また、疲労割れを引き起こすような有意な応力は変わらないということを確認してございまして。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:41	これに関しては過去の研究です。鍛造の起点です。項に関しては今日加工加えることによって進展するということがわかっていながら、鑄造ステンレスに関しては今日加工加えても規律が進展しないと。
0:51:57	ということがわかってございますので、私不可範囲というところにあるものに関しては規律が進まないということがわかっているというところの話でございます。
0:52:09	またISIにおいて弱ように 072016 の 4 号丸々オーステナイト系ステンレスを、
0:52:16	溶接金属部を透過させる探傷については、現時点でエンドースされていないため、エンドースされた後に適用を検討すると。
0:52:25	こちらについてはですね、ちょうど先月ぐらいに技術評価書のほうがパブコメを終わったという状況と伺ってまして、これからエンドースされるという見込みを伺ってございます。
0:52:40	ですからエンドースされた後にこの辺りの対応については我々のほうも検討していくという認識どうしてございます。
0:52:50	はい、えっと 1-5-6 に関しては以上でございます。次 1-5-7 の
0:52:57	きたいと思います。1-5-7 はコメント番号 4 番になります。
0:53:03	4 番は過圧器スプレイライン管台の取り付けられている箇所を提示することというのがいただいたコメントでございます。
0:53:15	Wet1-5-7 のほう戻っていただきましてこちらのほうを張りつけてええとまあ絵の中で、ここにありますということを書いてございます。グループとしてはAグループとBグループですね、ここに加圧器スプレイ管台がコールドレグが
0:53:35	両方ともコールドレグ側についてございます。今回割れが確認されたものはリード分が奥戸レベルにある感知器スプレイ缶であり、一方で、これが認められたという状況でございました。
0:53:51	はい。次の 1-5-8 の本説明振りたいと思う。
0:53:59	1 号の一部を 5-8 はコメント番号が 5 番。
0:54:03	いただいたコメントが 1 次冷却材管合剤とRV及びSGのセーフエンド継ぎ手に対する評価を提示すること。
0:54:12	いうことをいただいております。
0:54:17	資料の 1-5-8 のほうを見ていただきますが、最初のパラグラフはですねオープンSCCが起こりがたいというところをまず説明してございます。具体的によりまずと一次冷却材管と原子炉容器及び蒸気発生器を接続するセーフエンドについては、
0:54:37	講師をしており応力ショッフ割れが想定されると。しかしながら、定期検査時に追わ用語酸素濃度の流体が流入する際は、流体を
0:54:48	とか、ちょっと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:50	雨オリコ障害が発生する可能性は小さいとずっとここという形で次のページの図を遊戯本でございませう。こちら温度が低ければあの管理性が低くなります。
0:55:04	いう試験データを示してございまして、縦軸にサーと試験の亀裂進展速度、横軸が温度の逆になってございませう左側が 360° 今度中一方で、右側が 60 度の温度が低いあたりで、
0:55:21	この部分ではですな 90° 以上のところで亀裂の進展が認められるという結果になってございまして実際に温度の低い状況ではお連れし審判しても管理性がかなり低いというのが確認されているというデータになります。
0:55:40	で、本文のほうに戻っていただきまして、
0:55:45	その図 1 参照の次の産業界ますが、また、定期検査このプラグ起動時には 1 次冷却材中の溶存パス農道低減させるため、運転中は溶存酸素濃度が 5ppb 化に提言された流体となっていることから応力腐食割れが発生する可能性は小さいと。
0:56:02	次の次のページが国のこうね。
0:56:07	これ何度かできてるとは思うんですが縦軸に溶存酸素横軸に塩化物のをとって左下の網掛けの部分がBWRの地域水質ということで、こういった条件ではCCの管理が必要に抑制されるということを説明した図でございませう。
0:56:29	本文のほうに戻ります。
0:56:34	今のパラグラフまでが大勢ししが起こりにくいというところの説明でございませう。そこから先はですな読み上げますと、製造時の検査としては 1 次冷却材管のセーフエンドとの溶接部内面に浸透探傷検査を実施有意な欠陥がないことを確認していると。
0:56:54	なお、浸透探傷検査に際して容積の恨みを除去しており、照明仕上げバック施工が行われると考えられる。
0:57:02	いうので時差を通訳PC以外の事象として今回、大飯 3 号機のスプレイ配管みたいなどころでの比率が確認されているというところがありますんで、そこの
0:57:18	いいというところを説明する必要があるだろうと思ひました部分でございまして、実際のセーフエンドに関してはですな、恨みを除去しているという状況になっております。
0:57:30	つまり 3 のプレーは一般管理費っていうのは浦上と母材の境界部が非常に固くなって言われていたという現象でございませうが、そういった古浦並みと母材の境界部みたいなどころはセーフエンドに、
0:57:48	関しては、序ちょっとされていると
0:57:53	中身を除去しているという状況になっているということが期待されております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:00	その下、4行ですが、現状保全としては供用期間中検査として一次冷却材管とセーフエンドとの溶接部に対する超音波探傷検査を実施しておりこれまでの検査において有意優位な結果を見なくて、従って高経年化対策上着目すべき経年劣化事象ではないと。
0:58:19	ということで検査においても、確認されてないというところの話を記載してございます。
0:58:27	今のところがコメント番号 234 号でございまして次は別紙の 1-9 になります。
0:58:38	別紙 1 のほうの中部は、コメント等番号が振って引っ込みまして、21 番。
0:58:52	21 番のいただいたコメントがフォーマット養老酸素濃度が高くなる可能性のある範囲の溶接部については、最応力腐食割れ性にすぐれた 316 系材料を使用しているとあるが、316 を使用することで三角形で事象といえる根拠を示す。
0:59:13	ほぼ同じコメントがあるんですね、21 番と同じコメントが、
0:59:20	29 番。
0:59:23	どこでもいただいておりますのでそちらは 29 番のほうは計装配管などというところでございますのでいただいたと考えると、当該部位については 3④ 経営より耐応力腐食割れ性の遅れている冊単一力系を使用している。
0:59:40	ことで溶存酸素濃度が高い部位でも有効でここ杭事象である根拠を提示することと、
0:59:49	いうことをいただいておりますことでこの 1-5-9 に関してはですね。また④より小さい値 6 がすぐれてますよってというところの話を説明するための資料と
1:00:04	いう形で二つのコメントをまとめさせていただきました。
1:00:08	資料のほうも、
1:00:10	資料のほうはレポしなくなりますが、サブ 3④系材料と摩擦 316 境内量はこの二つを比較した場合、1 日が一通りさっ 31 億系材料のほうから会合緑色割れ性にすぐれていることが知られている。
1:00:28	そういうことで図 1 のほうを御確認ください。次のページになります。
1:00:37	次のページの II 位置はですね縦軸に材料の種類が記載されておりまして横軸が親戚時間。
1:00:47	この黒丸で書いたものが SCC が発生し、破断に至ったというもので白丸は終わりに至らなかったという試験結果を記載してございます。
1:01:02	試験自体はですねこれ 1980 年の少し古いデータでございまして、三陸の引張試験という形で SCC の感受性管理規程を評価したものでございまして 304 億円熱交に関しては、実施された三つの試験が、いずれも早いタイミングで大体 200 時間、
1:01:22	以内ぐらいでわれているというデータになってございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:26	一方人強下に耐記録ステンレス高が記載されておりますが、こちらの換気 6 に関しては、1600 時間かけ 700 時間、どれぐらいの試験をやった時間でも割には至っていないと。
1:01:42	いのでこの二つを比較していただけるとマーカーとかが含まれる高温水中での SCC の感受性といたしましては、3④と比べて 316 のほうがすぐれているというところが確認していただけるかと思えます。
1:02:02	本文のほうに戻ります。
1:02:08	本部の方 3 行目からでございますが、316 はモリブデンを転貸することにより耐食性を向上させて戴い料であり、うにを通り今日日がステンレスこうでもモリブデンを添加することで高温水中における耐震性が向上することが報告されている。
1:02:24	そのため、応力腐食割れが発生する可能性は小さいと考えている。
1:02:29	ことで 36 と 3④で間違いがありますと、3 日置くのがいいですというふうに書いたんですが、ではなぜ 316 のほうがいいのかというところの補強を少ししているのがこの出水のほうになりますページの
1:02:48	この図 2 のデータはですねこれも 1978 年の公式古い空いちやうに高橋さんがとられたデータなんですか。縦軸が亀裂の深さ、横軸がモリブデンの濃度と、
1:03:03	いう形で永代 CC 等発生試験を実施されまして、発生試験の結果を記載されているという状況になります。横軸ばモリブデンの濃度になってございますが法事採算④ステンレス覆わモリブデンをほとんど含んでいないと。
1:03:22	いうことでこの図でいきますと一番左側、
1:03:26	それのみ、モリブデンを展開することで酸化性雰囲気中の耐食性というのを向上させたものが 316 ステンレス高になりますんで、36. 熱交大体 2 から 3% のモリブデンを含むば済んで一番右側にあるデータと、
1:03:43	そういう状況で見ただけだとわかりやすいかと思えます。
1:03:48	いうことでモリブデンを添加することで高温水中での出資し管理性というものが極端に低下していくということがこちらの図が明確に示されているかなというのがこの次の説明でございます。
1:04:07	はっきりと本文のほうに戻ります。
1:04:10	従って大飯 3 号炉の高温かつ溶存酸素濃度が高くなる可能性のラウロ範囲の 3④系材料の選別こう配管計装用取り出し配管を含むについては、担当課有料 0.6% 以下に制限した策 316 系材料に取りかえを進めていると。
1:04:30	いのでまた④系が残ってる部分に関しては準備ハンイチ物件に取りかえを進めているという記載をしています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:40	なお取りかえに際してはより耐応力腐食割れ性を向上させるために、担当範囲を 0.05%以下に制限したものを採用している。
1:04:52	次のパラグラフですが、溶接熱影響部は入熱による鋭敏化する結果可能性があり、この警備員川改良の担当量が多いこと商事がつく応力腐食割れ管理性を増加させることが知られています。
1:05:07	しかし動作の通り炭素含有量 0.05%以下に制限することでいいかとは 2 クロム／つき合わセンチメートルGPAを下回ることが確認されており、通用に示す通りPWR水素水質の算定方法は環境課ではく論パースクエアセンチ目と次以下
1:05:27	では、片肺注力系材料の応力腐食割れ発生の管理性はないことが確認されている。
1:05:35	いうことで後ろのほうの図のほうを簡単に説明させてください。ズーツさんですね。
1:05:44	こっち側ですねドサツ 3045316 それぞれのMaピンカーの状況というものを調べたデータになりまへと横軸が炭素濃度で 0.02 から 0.08 ぐらいというところで大体使われてるものでございます。
1:06:07	316 と比べると 3④に関しては、上のほうにデータがきているというのが見てとれると思うんですが、どこの縦軸がですねこれは鋭敏化度という形のパラメーターでございまして、電流をだ原因をかけたときに、
1:06:27	入会からどれだけ職場生じるばまあの受けたということが定性的に定量的にパラメーターとして、
1:06:37	扱っているというものでございます。
1:06:41	見ていただきたいの炭素濃度が高いことを鋭敏化とか高くなる。つまり議会で腐食量が多くなるというところがこちらの絵では見てとれるという状況でございまして、炭素濃度が例えば 0.05%ぐらいがこの図のちょうど
1:07:01	中ぐらいのところだと 1 クーロンパースクエアセンチぐらいのところまさに直線です。この場合はある。
1:07:08	というのが見てとれると思います。
1:07:12	でその弁たモデル名 SCCのパラメーターにそのまま置き換え対応といったものが次の 4 のでございまして。
1:07:23	ちょっと解釈がここ複雑になるんですが疼痛 4 は、横軸がJABカードホッパー先ほどの縦軸になってございます。縦軸はSCCの管理性という形になっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:39	マクロで示した単一 6+316 のデータを見ていただきますと、大体買うところが 0.05 ぐらいの場合は、Aように、この鋭敏化額というものが抑制されて大体 1 ぐらいのところにデータがあるときでしたが、
1:07:59	その 1 ぐらいのところの鋭敏化度の場合はほとんど SCC が起きないと secSR P テストでは SCC の感受性というのが認められてないということがこちらの図で説明されているということです。
1:08:16	では本文のほう戻りたいと思います。
1:08:23	以上の通りですね各単一ロック系の炭素含有量を採取したものに今我々変えていくことで、CC の管理施設というものを非常に抑えているという状況でございますが、下のほうにちょっと※1 という形で米印を打ってます。
1:08:40	同意 3 号炉は申請時点では婚活溶存酸素濃度が高くなる可能性のあるファイリングなんかで、体積制御システムのベントドレン管の一部に刺さマリン系材料バトン出しているか、第 19 回定期検査時に炭素含有量を 0.05% 以下に制限した 31 経済に取りかえ予定である。
1:09:03	ということで 19 回というのが次回の経営定期検査でございます、まだ一部に関してはさつ 3④系が残っているという状況でございます。
1:09:17	なお、現時点の運転計画では第 19 回定期検査に相当する次回の停止期間は 2021 年 12 月 1 日から 2022 年 4 月 1 日という予定でございます、運転監視以降 30 年を経過するよう、また御期間となっております。
1:09:35	そのため、
1:09:37	実用発電実用発電用原子炉施設における高経年化対策実施ガイドとの 3.306 に基づき運転を開始を 30 年を経過するまでの将来の見込みに基づき評価を行う高経年化技術評価上は、
1:09:54	早速材料もいっぱい後の状態としていると。
1:09:58	ことで 3④経営の材料がですね一般の温度としてはそれほど高い領域ではなくて 200 といった引きなんですけど、そういったところに少し残っているというのが現状は確認されているというのを少し付記させていただいております。
1:10:18	はい。
1:10:20	一応 Ss 出資の報告はいただいて、今のところまでだと思いますんで、そこでしたしたいと思います。以上です。
1:10:32	はい。規制庁ミヤモトです。
1:10:35	そうですね一つ内容が結構
1:10:38	ボリュームになるので、ちょっと一つやって、一つずつ進めていたほうがいいかなと思います。まず 1 の
1:10:44	この後の加圧器スプレイ配管溶接部の亀裂というところ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:51	これはもうすでに結果が徹底等ですね、いろいろ評価とかかれて今後も
1:11:00	こういう対応しますよってことは、よろ示されているところであるんですけども。
1:11:06	規制庁ミヤモトですと1点だけ確認させてくださいねと。
1:11:11	今この系統スプレイ配管のところについては技術評価書の少し書かれている配管のステンレスこう配管ところでも少し触れられていると思うんですけども。
1:11:29	この辺のところは、今回の一連の
1:11:33	調査結果等々を踏まえて、
1:11:36	高経年化対策上着目すべき経年劣化事象には該当しないっていうところからは、事業者の見解としては変わらないんだけど、
1:11:47	ていうところはまずそうなのたんすそうだっていうこと。
1:11:52	ただそういう見解だっていうことで、なんですねっていう確認とあと技術評価書をそのものだから修正と書いているのかどうかって言うところをちょっと確認させてください。
1:12:07	炉関西でテラチれるまず見解としては変わらないっていうのは特にでございまして、こちらの文言をここに記載させていただいたものに関しては技術評価書の中にそのまま転記するような形で家こみたいなど。
1:12:25	いうことを考えております。
1:12:27	以上です。
1:12:34	はい。規制庁ミヤモトです。
1:12:36	はい系統。
1:12:43	高経年化対策上の位置付けとしては変えないんだけども技術評価書のところは若干
1:12:48	申請当時のところかと比べていろいろと変わってきてるんでそこは見直す考えだっただけで入っていたかちょっとこれ以上等やっちゃうと、審査会合またなる可能性もあるのでちょっとここ私のほうから、ここでちょっと
1:13:03	したいなと思っております。
1:13:06	あと、この点について、規制庁のほうから何かございますでしょうか。
1:13:24	規制庁ツカベですか、ちょっと確認したいんですけど今回は過大な入熱が原因だということだったんですけど、実際事象が起きたのが30年近く経ってということで、その
1:13:40	発生は前回の経験では、前々回ですか、定検でも使わなかったもの学校となんですけど。
1:13:47	その高経年化という観点で、結構今どういう扱いになっていった検討がなされて取り扱いになってるかって教えていただけますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:02	関西電力テラチです。その高経年化という扱ってという意味ではですね、我々これ特異な亀裂が発生したという、まず整理になってございまして、これまでも府県絶好に関しては、どうかこうステンレスのH市、
1:14:22	というものは認め苦痛もう具体的にそういったものがプラントのあちこち0達成すると考えてなかったと。
1:14:32	ということでございます。トラブって電話ですね進呈の管理性があるということから我々今日加工SCCの対策を打ったり、今説明してきたようなKC-対策を打ったり、実験に関しては出席様々な対策を実施してございます。
1:14:52	それがちょっと繰り返しになりますけど現時点では6の亀裂に関しては特異なき裂であるという認識をしてございまして、すぐにほかのところで起きるという解釈ではないと。
1:15:06	あくまでも鑑定懸案の類似性の高い所添加しますということに関しては、同じような亀裂があつていないと、右やっぱといった取り組みを自主的にやっ ていこうというばそういう話だというふうに期待しております。
1:15:25	答えになってますでしょうか。慎重ツカベにお考えはわかりましたってその後半の部分と関連なんですけど、光景が水評価自身はその評価をして追加の
1:15:41	施設管理の方針を取った生の形に仕組みとしてはなっていて、今回の署名のお願いについても、長期施設管理方針を
1:15:52	を立てて保全を行っていくことができると思うんですが、現状ではそういうことを考えではないという理解でよろしいですか。
1:16:01	その通りだと思っております。
1:16:07	ちょっとそれは先ほど御説明の具体的な内容としては、今後3定検見ていきますとか、ある意味、
1:16:15	今後の保守活動、
1:16:18	の項目を立てられてると思うんですけどそれは高経年化技術評価から導かれたものでは、
1:16:25	マインドでというふうに理解しておけばいいんですか。
1:16:30	その認識でございます。
1:16:34	規制庁ツカベです。はい。御説明わかりました。
1:16:51	規制庁宮本です。伊藤。
1:16:54	ほか誤差言います。
1:16:57	ただ、また追加であれば、また戻りたいと思いますのでは次に1-5-6
1:17:06	ところでですねステンレスこう配管の超音波探傷検査の損傷不可範囲というところ、
1:17:16	なんですけど、これは何かございましてでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:24	何か。
1:17:27	規制庁コウノです。
1:17:30	よろしいでしょうか。お願いします。
1:17:34	うん。
1:17:37	トーンをも
1:17:40	もう規模、
1:17:44	でも一番最後の末端から乗ってですね、記載されている内容なんですけれど。
1:17:51	購入を変えて付議を規定ですよね規定をBDF分と電協研で有効だというデータを示さし、結局この規定を有効であるということです。
1:18:06	示しつつ、この規定を作られたというふうに理解しております。それに対して規制庁のエンドース
1:18:16	今ほぼを強制化されないか、されないかったら使いませんという。その考え方を教えていただきますよう関連の方で結局県で有効性を
1:18:32	本当日と電気協会のに
1:18:35	だけでもISI検討会だと思うんですけれど、そこにも関西電力から委員がでておられてで委員も観点としてもこれは有効だというふうに考えておられるのか。
1:18:48	強制されるまで使わないというそういうふうにかかれてるんだけど、こういうふうに本当に買っ書かなきゃいけないんでしょうかね、ちょっと関連もその方針を緊急ですか、考え方をちょっとここ教えていただけますか。
1:19:05	関西電力テラチです。ちょっとこの書き方に関しては相談させてもらったほうがいいのかという気がするんですが、我々のスタンスとしてはですね現状はまだエンドースいただけてないというところで、
1:19:23	我々の工程アプリ使って判断しますよというような書き方をしていないというのが今の状況かなと思ってますので、
1:19:34	こちらの今回のこの大飯3号機の話に関してはですね、もともとこの前の案件、この大飯3号機のスプレイ配管の話とかが絡んできているかなという認識をさせていただきます、
1:19:49	その中ではこのうち3号機は探傷不可範囲というものがSCC今回のそのSCCの事象に関連しては、対象海岸なかったと
1:20:04	場所とか範囲というところが対象箇所になかったということもありますんで、それ以外のところの答えを入れるべきかなという意味で、今後エンドースしていただいた後に、我々としても信頼がある。確認できたものと、
1:20:22	いうものをね適用していきましょうというそういう解釈で記載したものになってます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:44	規制庁コウノさんの言われることもわかんなくはないんですけど、本件について技術評価の最初のところに、
1:20:54	最新知見を反映してるという話で、もう
1:21:00	進めて立派な評価してくるというふうになっていて、この 2016 年に看護、
1:21:07	民間規格として、日本でつくった規格を使うというところをうまく
1:21:15	どんどん使ってくって下部規定として使っていくべきかなというふうに考えております。
1:21:21	関西電インシカワでございます。今おっしゃっていただいたことをその通りだと思っておりますけれども、我々公開書いたものがISIとしては、まだ留萌の細けくないで代替の中では使えないのでまず、
1:21:37	そのところに使うのは考えための最低から出てるの書いてございます。あともう 1 点あるのは、大飯 3 号機は退職範囲が非常に少なくてですね、熱交中高の弁のところにはないっていうのもありまして、ちょっと
1:21:55	すべからくすべて家族か班員自主的にやるのかっていう整備との兼ね合いもありますので今現状はこういう記載させていただいているとエンドせいただければISIの中でも取り扱いのまた整理するとそういう意味合いで今会計期ということでございます。以上です。
1:22:26	規制庁の近藤です。この延長も分割さん、関西電力の考え方というのは理解いたしました。
1:22:53	はい。規制庁ミヤモトです。
1:22:56	ですし、ただ、次の 1 のもの 7
1:23:01	これは、
1:23:07	これも多分技術評価書のつう
1:23:12	販管費冷却材管の
1:23:15	それを
1:23:17	本当に加圧器スプレイ管台の場所を明示して、
1:23:22	なったというところ。
1:23:24	これはもうこれでいかがと思いますが、
1:23:28	当また何かあれば、追加で規制庁のほうからコメントがあればと思いますがこれ明示されているのでいいのかなと。
1:23:37	でも後は、これを技術評価書に食われるのかどうかというところをもうRのかなと思ってますが、すみません、この部位としてこの①から⑧まで加えている。
1:23:49	ところ、
1:23:54	これはどういう観点で選んでいるのか、むしろ加圧器スプレイ管台を
1:24:01	これはまた別のところで何か出てる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:04	というふうに考えていいのでしょうか。ちょっと山積図表課長との関連で確認したいだけです。
1:24:10	関西電カインシカワでございます。今、別紙の5-7につけております図は、コウケンヶ月消化槽にいくそのもの研究してきてございまして、従前からの分として明示しているのは、
1:24:26	例えば完売で中でも疲労評価をしている部位とかです。ねすべてというわけではなくて、特に評価は必要で、詳細評価しているような部位を明示しているとすねそのものを添付していきますので、①、⑧っていうのがもうついている状態になってますね。
1:24:46	加圧器スプレイ管内は10年そ女性も今もですけども、特に特化して評価するような事象が今ございませんので、今、図面上で示していないっていうのがきでしょう箇所の記載になっております。以上です。
1:25:07	はい、規制庁の山本です。はい、理解いたしました。はい、ありがとうございます。
1:25:12	ただ、1-5-8のほうを打つといいまして、
1:25:25	はい、次のですね、高齢国庫の質問させてもらったのは別事定着配管の貢献技術強化総本部ベットの配管のコウノdこれHz、この部分に対して、
1:25:43	要は
1:25:45	1次冷却材管と鮮度連通口土佐進むA04次のところの評価が記載されていなかったもので、記載が多分についての人同じくなんてのはわかっておられるんですけども、負担ですけど。
1:26:00	記載がなかったもので、もう1人しました。でもこういう管理いただきました後はこれを本当にいえるか僕はというものを
1:26:09	ご検討いただければなというふうに考えております。
1:26:12	以上です。
1:26:27	これでレベル1からでございます。よく質問趣旨了解いたしましたして、少しちょっと入れるリッカ一田舎含めて検討させていただければと思います。
1:26:41	規制庁コウノです。了解いたしました。
1:26:49	ミヤモトですんでは1市のもの給付ですね、排風機あの方に
1:26:58	回答もいますが、移りたいと思いますが、規制庁のほうから何かございますでしょうか。
1:27:15	確認ですけども規制庁ミヤモトです確認ですけども、当時間いまで9回のときに、
1:27:23	そういう意味では炭素含有量を
1:27:28	制限した。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:29	要は熱鋭敏化て物をそこ考慮して派というところで配慮した冊数 3 キロ圏に
1:27:39	入る予定でっていうところは書いたんですけど、この趣旨っていうかこの日一文といますか、この趣旨っていうのは何か技術評価書にとかでは出てくるのかどうかちょっと確認させてください。
1:27:55	関西電力イシカワでございます。等倍の水消火と今見ていただきますと、ちょっと今、ぱっと手元に移せないんで申し訳ないんですけども、すべて 3 コーン溶存酸素濃度が高くなる範囲でいい。
1:28:11	なおどの範囲に社長さん④原材料があり、ないような記載をしておりますので、
1:28:19	それと補足という意味で、現状、及びことで設定の書かせていただいているということでございます。
1:28:27	規制庁ミヤモトです。確認ですけど今の技術評価書ですと
1:28:41	炭素含有量を抑えたものの配管がもう存在して、
1:28:46	言えないような書きっぷりに見えていて、
1:28:51	そうですね。ただ、どうしてもお金と将来の見込みに基づいて評価を行っているという
1:28:58	ことを、がえ等、技術評価書上下こんな 1、
1:29:05	ということですか或いは現状そういう炭素含有量を制限した屋根整備買っても、ご考慮したいいわゆる 3 記録計、
1:29:17	逆に破砕 3④系が存在しまして、
1:29:23	いろんな方がいいとかかそういったところでちょっと今見えてこない状況が技術求償箇所のところ損。
1:29:32	前提条件が見えてこないってところがいいののかどうかってところがちょっと関西電力の方で検討していただいて、
1:29:39	他方がいいのかなと思っておりますがいかがでしょうか。
1:29:42	関西電力イシカワでございます。執行収支配布了解いたしましたの。
1:29:47	実際問題 3 号機 18 回定検伸びておりまして状況は少し申請当初ほぼ
1:29:55	大分変わってきてるところもありまして、それを踏まえまして我々としても、この辺り明確に評価書にも書いたほうがよろしいというふうに考えておりますので、今回回答した内容というのは評価書のほうに盛り込むような形で検討を進めたいと思っております。以上です。
1:30:19	はい。規制庁ミヤモトです。わかりました。
1:30:23	ほかに、規制庁のほうから、被害地震の後、この後からこの 9 までですけど、何かございますでしょうか。
1:30:31	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:32	ハシクラさんお願いします。
1:30:35	規制庁のハシクラでちょっと確認なんですけれども、今回のスプレ配管のSCCの話なんですけれども、
1:30:45	さっき言っておられたの話で今後ATENAでいろいろやります。それも我々も知っていますけれども、それらの知見を踏まえた上で、ターネット例えばですよ。今後その辺りの新しい
1:31:00	新知見を反映した上で、こういうことをやりますとかっていうのが例えば長期施設管理方針とかということで上げるとかかっていうことはないのでしょうか。あくまでもそれは状態様子見ということなんでしょうか。ちょっとその辺りスタンスを教えていただければと思います。
1:31:29	関西電力イシカワでございます。いただいた保障ですけれども、我々前にちょっといろいろとこでいい。
1:31:37	記載させていただいてる通りで、また発生のメカニズムっていうのがうまくところ特異なもの、はっきりとこの、ほかの部位も起こるっていうふうなところまで考えていないということもありまして今ません技術開発課題な状態であると思っております、
1:31:54	そのような状態なものっていうのは、長期施設管理方針にはまだ記載しないというふうなたてつけで整理を重点化させていただいておりますので、今回も評価書の中には取り組みっていうのは確認ですけれども、まだその処理施設管理方針例明確に
1:32:12	取り組みをやるというようなその高経年化技術評価の結果を踏まえた追加保全 20 たてつけにはまだ至っていないというふうに話いっぱいです。
1:32:23	規制庁あそこはですねと、イシカワさんありがとうございます。わかりました。ありがとうございました。
1:32:33	うん。
1:32:41	はい規制庁宮本です。
1:32:45	次ですね後は、
1:32:48	これは別紙の
1:32:54	ベースC最後発の位置とかになるのでしょうか。
1:33:00	関西電力の鶴来でございます。一方通行Pを示させていただきたいと思います 601-6 の摩耗等 1-などにつける付着は今回御説明ございません。続きましては 1-8 の熱時効になります。
1:33:19	こちらのほうは別紙の 1-8-1 になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:23	いただきましたコメントはコメントNo.23 番になります低とか以外に、では天災とKネットにおいて析出硬化型の熱時効おぼしきますと、当該プラントにおける本事象に対する考え方を示すことということでご質問いただいております。
1:33:40	ちょっと1-8-1 のところで御説明させていただきました。
1:33:45	○展開として熱交につきましては、始良において 250° を超える事象温度環境下で日事項の懸念があることが示されてございます。
1:33:55	今のPIと計算でこの事故は示す小中高の熱時効と同様、代表の靱性が低下する事象であることから、日本原子力学会標準のご懸念化対策実施基準における先月中高の熱時効の評価対象抽出方法を準用しまして、
1:34:15	周知が必要と考えてございます。
1:34:18	具体的にはごとにあります指導温度が 250° 以下の行為Bポツのき裂の原因となる経年劣化事象の発生が想定される日Cポツの定期的な目視等の点検によるき裂発生の確認を行ってV行っていないと
1:34:35	もう大して演習室が必要と考えております。
1:34:40	資本のが 250° 以上の弁はございますが、こういったところにも意見サイト系ステンレス等は使用されてございます。
1:34:49	がたい工場の経年劣化メカニズムまとめ表で亀裂の原因となる経年劣化事象の発生が想定られされる部位としましては、これら確認取れたこのような御便のうち、展望をが挙げられます。
1:35:04	したがいまして/Bポツから抽出しゃべる日としましては、弁の弁棒というものが挙げられます。
1:35:12	ただし、
1:35:13	これにつきましては、弁開示に逼迫な応力がされないような内容な運用を行ってございます。こちらについては本日御説明させていただきました別紙の 1-5-3 の説明の通りでございます。
1:35:28	またですね。弁棒につきましては、定期的な分解点検時に浸透探傷検査を実施していることから、起立発展の確認を行っていないと良いいcポツに該当するものはございません。
1:35:43	以上のことから、辨野○展開と形成ですとにつきましては、熱時効の評価を駆動と判断してございます。
1:35:51	以上でございます。
1:35:58	規制庁宮本です。当店私の方から聞きたいことがあります。今別途
1:36:07	当ヒアリング中のステンレスこう中高の熱時効、こちらの
1:36:15	評価対象スクリーニングって確か江藤今いろいろとヒアリングでやったかと思うんですけどそのときは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:24	学会標準等を見ながら、そのAポツの使用の250度以上ということ。
1:36:31	bポツのき裂の原因となる経年劣化事象の発生が想定される部位、あと、加えて2015年の学会標準でちょっと例外的な扱いされているものと、
1:36:44	というような扱い、それを評価対象スクリーニングにしてたと思って何が言いたいかってこのCポツのですね、定期的な目視等の点検による切れさせるの確認を行っていない部位というのは、
1:36:59	ステンレス鋳鋼版に沿って熱交のほうの熱時効ではスクリーニングに入っていなかったかなと思うんですけども。
1:37:09	その夫考え方っていうのを、むしろすでに少しこの幅広くやってるんですよっていう趣旨なのかわかりませんがスクリーニングですね、ちょっとこの機会なので、そのん。
1:37:22	こっちステンレス個人この方について以降ではcポツっていうのはスクリーンフローの中にはここにいて入れてなかったということの理由をちょっと教えていただきたいなと思っております。
1:37:36	関西電力の石川でございますいただいた御質問の件、残りのですけれども、ちょっと市税件ですけれども、結論から申しますと、本来ステンレス鋳鋼に総括の方もですね、Cポツ入れてスクリーニングするっていうのは学会標準にもなっていますし我々としてはそれでもいいと思ってるんです。
1:37:54	ムラタの主要な事象としてGuideで熱時効のくせに相殺の熱時効の評価をしないというところに対して評価結果がすごく薄くって何も見えないようなことになりますので、IPC国内た形でほど御説明などは、
1:38:13	医師見せるような形にさせていただいていると万点サイドの方はもう素直に学会標準通り本来我々があつたべきだと思っているスクリーニングのやり方を踏襲してやっているとそういう整理でございます。以上です。
1:38:32	すみません、規制庁ミヤモトです。確認させてくださいと実質ステンレス構築のほうはCポツの部分は考慮せずに、舗数bポツ、
1:38:44	あと学会標準の例外で、
1:38:47	幅幅広美にスクリーニングしているっていう理解をしいいんでしょうかそれとも
1:38:54	そうじゃないんでしょうかということもちょっと確認させてください。
1:39:04	ワタナベシカワるかも含めて二相捨て猫中高の方もですね、最終的にはCポツっていうのも用途として考えて評価してますけれども、最初に機器を並べるスクリーニングをする際には、キーポート外し、
1:39:20	形で進めていっていると最後に、現状保全ということとしてますかというところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:28	整理を再度評価としてしていると、そういうことでございます。
1:39:41	ちょっと申し上げますか。
1:39:44	はい。
1:39:53	よろしくお願いします。
1:39:55	はい。
1:40:08	はい。
1:40:17	規制庁ミヤモトです。今日は熱時効ではないんですけども、今の話をお聞きしますと、当熱時効のときに熱時効評価対象不スクリーンフローも含めてちょっと
1:40:32	そこそこ見直しましょうかって話があったと思うんですが、
1:40:37	今そのAポツ、bポツ、
1:40:41	損傷cポツってところが、このスクリーニングフローのところには、
1:40:45	スクリーニングたそうですね評価対象をお持ちのところで見えてこない。そのcポツのところが補足説明熱時効の補足説明資料のところでは、
1:40:57	江藤。
1:40:59	この抽出評価対象抽出って考え方で逃げてこないんじゃないかなとちょっと思っているんですが、
1:41:06	そういう意味では、その修正だけ見直しが必要なんじゃないかなとちょっと思ったんですけど3日でしょうか。
1:41:25	第3は湿気すいません関西電力市川でございますご趣旨Cは最初の
1:41:33	てっきりのスクリーニングの時点でcポツを熱時効入れるということだと今聞こえたんですけども、そうおっしゃる通りのスクリーニングできなんですけれどもそうすると我々の感覚では、弁がまずすべて落ちてしまって、
1:41:49	イナート配管は全数点検じゃないのにとっちましようか。入れどう考えようかとかそういう話になるかなと今思ったんですけども、そうそういう趣旨の検討をちょっと二相さすのほうでも、
1:42:05	改めて下するっていうところを議論するということでしょうか、そういう趣旨の御質問でしょうか。
1:42:15	越智長官がおっしゃったんですね。
1:42:19	それはよくなります。
1:42:21	石川さんすいません規制庁のハシクラです。結局今イシカワさんがおっしゃってるのところっていうのは最後のところの現状保全でこうやってみてるんで、そういった部分を担保してますよと。つまり、二相っちゅうのところの最初のスクリーニングに関しては全体的に網羅的に2回でまずは今の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:41	次、それから土木学会標準の適用適応除外みたいなところに入れといて、現状保全のところではそこちゃんと見てますよ。だから全部見てるんですよっていうのが御趣旨だということですかね。
1:43:02	うん。イシカワでございますのですね学会標準のか今示しておりますaからcの考え方をすべて検討して評価しているという予算おっしゃる通りの御趣旨です。
1:43:16	今そう見え
1:43:19	そういえるか今の補足説明
1:43:22	ちょっと意味なんですけれども、
1:43:25	演説でどうしても海外の話になっています。
1:43:30	これは出してない。
1:43:32	はいってないんです。はい。
1:43:34	要するに、
1:43:35	諸外国
1:43:37	上で、
1:43:40	で、
1:43:41	何となく、
1:43:43	一番困るのは抜けてしまった方がまずいかなと思うんです。
1:43:49	はい。
1:43:50	規制庁宮本です。そして無理変位合わせようとして費等評価して欲しいとは消火すべきところ、或いはその広めに評価したほうがいいということで、あとこちらが確認したいし、してることっていうのを、
1:44:08	ためき落ちる方が怖いので、ちょっと今一番1一連いろいろ御質問いたしましたけども現状のままにそっちのほうも、現状のままで、
1:44:22	こないだのヒアリング前々回ですか。1ヶ月ぐらい前のヒアリングを踏まえたところでの修正ということで進めていただければと。
1:44:31	今このやりとりできたところが反していただかなくてこのままでいいですよっていうことではいかがというふうに考えてますがいかがでしょうか。
1:44:42	カ年楽イシカワでございますが、拝承いたします。
1:44:45	ただ、機器
1:44:47	もうイシカワさんよくご存知の通りで例えばM&Mとかでも出てますけど、
1:44:55	事故したところでちょっとまあそういったところの話が結構あったということと、海外の話とあわせてということで、我々としては網羅的にそのあたりをチェックしたいということだったので、すみませんちょっとそこら辺のそごというところが

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	出てくる可能性もあるんですけども、今のイシカワさんのお話の中で全体的に見て
1:45:14	抜け落ちがないようにしてますということなので了解しましたので、ありがとうございます。
1:45:23	すいません規制庁コウノです。
1:45:27	どうつくっお前。
1:45:30	今日も別紙の1部門。
1:45:33	何番でしたっけ。日の4日もボルトの話でも材質を丸とこうだというふうになってたんですけど、これはこれ、この熱時効とは関係が出てくるんでしょうか。こないんでしょうか、教えていただければありがたいです。
1:45:58	語れる力でございます。海外で一番問題になってるのはセキュリティ硬化型で今問題その中でも特定のものとかありますけど、問題になっていって、JA一方でこの度布かボルトに使っているような機種／方じゃないんで、リケンサイトのもの。
1:46:18	特に大きく食うそこまで問題になっているという認識はないですけども、じゃあ熱時効しないのかっていうとそうでもないというところがありますので我々としては3日以上の結果、
1:46:30	下なんかでいたの。
1:46:32	見れる範囲だ点検はしているというところでございますけれども特にその保険競馬場掘出して評価するほどまだ懸念があるものではないというふうな理解をしております。以上です。
1:46:48	はい、河野です。ここは今回作っていただいている補足説明の中に両方の材料がいっぱいあって、よく見ると析出硬化型じゃありません0。サイトですと言って、今度高校でもある天災等の熱時効はこうなんですかと言われていると。
1:47:07	今回じゃあはどうなってんのというのがちょっとそういうふうに感じてしまいますので、仲間の部分ここもほとんど問題ないんですというようなものを今後示していただければと。
1:47:23	何か旅行型、一緒に補足説明に書かれちゃうと何か非常に引っかかっていますねっていうのがちょっと感じた感じたところです。はい。
1:47:43	規制庁ミヤモトですけ等を関西電力斎藤回答いただくのは、以上。
1:47:50	になりますでしょうか。
1:47:58	今日予定してたところはこれが異常これ以上ということでよろしいでしょうか。
1:48:08	関西電力の辻でございます。すいません今ちょっとご質問をいただいでいて、天才として熱交のトップ熱時効のところでご質問いただいでいて、一井過敏の床ボルトのところと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:25	うちの弁の
1:48:28	熱時効のところの記載について、析出防爆型と凍らないものでの考え方地型の
1:48:36	ちょっと違いがあるんじゃないかということのご質問だったかと思っていますけれども、セトを出資としましてはテキスト硬化型。
1:48:49	天才とこそ、
1:48:52	についてのコメントの回答であれば、前のところにそういうところわかるように書いたほうがいいんじゃないかというふうなコメント等受けて間違いはないでしょうか。
1:49:11	規制庁のハシクラです。さっきこのさんが言ったのはいわゆる同じところに同じ土壌で同じことを聞いているので同じ答えてわからないねっていうことだったので、もし、もしあれでしたら4日半ボルトのほうは積雪硬化型ではないので、懸念しなくてもよい。
1:49:29	それから弁の方に関しては、析出硬化型も含めて、そういったこともこういうふうを考えているっていうふうに、もう少しちょっと丁寧に書いていただけると同じ中で、はっきりわかるよねという意味合いという意味なんです。で、もしよかったですらそう書いていただけないでしょうかという、
1:49:47	庄司です。以上です。
1:49:51	／改善力のツジでございます承知いたしました等ちょっと前段のところでもう一つわかりやすく丁寧に書くということで、ちょっと記載のほう検討させていただきたいと思います。
1:50:05	以上でございます。
1:50:06	すみませんよろしく申し上げます。
1:50:14	関西電力のムラタです。本日予定しているコメント後1件ございますので、説明させていただいてもよろしいでしょうか。
1:50:23	コメントNo.7-2になります。
1:50:29	規制庁、ミヤモトれそう申し上げます。
1:50:32	はい。
1:50:33	コメントNo.7-2で別紙-9になります。
1:50:44	一休、
1:50:46	はい、藤久は前回説明差し上げたところ、蒸気発生器原子炉容器の各県下の正面値を教えてくださいと。
1:50:59	御質問いただきましたので、その部分について、1ページ目の下下下段2棟で追記させていただいております。
1:51:07	書いてある通りなのではもう読み上げるのは、3兆弱いったら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:12	省略いたします。
1:51:14	説明は以上でございます。
1:51:19	規制庁ミヤモトですはい。これはこれ興産のために、これご質問されたかなと思いますが、これよろしいでしょうか。
1:51:32	あるところ六つ見捨ていただきまして出口管台の講話ライブMは、超音波で内面
1:51:41	要は、
1:51:42	中身からの情報をやっているということを確認させていただきました。沖の方がKって可能な欠陥検出性が高いと思いますので、もうこれで後の検査かなというふうに見ております。はい、ありがとうございました。
1:52:02	はい。
1:52:03	成長宮本です。
1:52:07	一通り回答いただいたというところで、全体通して追加で確認とか質問とか、規制庁のほうから鋼材ますでしょうか。
1:52:27	ウェブで参加されてる方々1回はでしょうか。
1:52:52	はい。
1:52:55	特にたければ
1:52:59	本日のヒアリング終了したいと思います、当事業者側のほうから何かございますか。
1:53:07	電力即時ホームですとこちらからは特にございません。
1:53:11	はい規制庁宮本です。
1:53:13	等では以上で本日のヒアリング終了いたしますとありがとうございました。
1:53:19	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。